

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月12日更新

事務事業名		敬老事業実施団体助成事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	内田 秀一郎
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	高齢者支援課	担当者名	橋村 綾子
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進			所属班	高齢者保険班	(内線)	2115
予算科目		会計一般	款3	項1	目4	事業連番10436	法令根拠	合志市敬老事業実施補助金交付要綱	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
								成果優先度評価結果	⑤
								コスト削減優先度評価結果	⑨

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	◎多年にわたり社会に尽くして来られた高齢者を敬愛するための敬老事業を実施する行政区・施設に対して、その経費の一部を補助する。(補助金の算出)定額補助(行政区のみ。1行政区あたり10,000円)と人数加算(75歳以上の高齢者数に1人あたり700円を乗じた額)の合計額。※敬老事業に要した実支出額が少ない場合は、その額。 ◎平成13年度までは町主催の敬老会を実施していたが、参加者数が増加したことと弁当等の手配等で混乱を来すようになったため、14年度より各行政区等に対して敬老事業を実施した場合に補助金を交付するようになった。高齢化率が高くなり、対象者が多くなったので、19年度より人数加算対象年齢を70歳以上から75歳以上に引き上げた。
【業務の流れ】	75歳以上の行政区別人口表の作成(4月1日現在)。行政区等の代表者に敬老事業申請書を送付。行政区等より申請書の提出。補助金交付決定通知書を送付。敬老事業実施後、行政区等より実績報告書の提出。審査(請求書の受理)補助金の支払い。
【主な予算費目】	役員費、負担金補助及び交付金(補助金)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	平成19年度から補助金が減ったので、敬老事業のやり方を考えないといけない。平成19年度より対象年齢を75歳に引き上げたことにより、公民館で行えるようになった。各地区から事業計画、実績報告や補助金請求事務が大変であると言われる。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動)22年度実績(22年度に行った主な活動)(DO)	75歳以上の行政区別人口表の作成。敬老事業申請書の送付。申請書の受理・補助金交付決定通知書の交付。実績報告書の受理・審査(請求書の受理)。補助金の支払い。 72行政区、3施設。補助金額計4,330千円	23年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 敬老事業を実施する行政区等の団体に、経費の一部を補助する。75歳以上の行政区別人口表の作成。敬老事業申請書の送付。申請書の受理・補助金交付決定通知書の交付。実績報告書の受理・審査(請求書の受理)。補助金の支払い。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)箇所	予算の主な増減の理由
ア 敬老会開催数	箇所	
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	敬老会を実施する行政区等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)(単位)人 ア 75歳以上の高齢者
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	高齢者を祝う	③成果指標(意図の達成度を表す指標)(単位)人 ア 敬老会への参加者数
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 意図が高齢者を祝うのため、高齢者が敬老会に参加することによって、多くの方から祝ってもらえるので、敬老会への参加者数とした。高齢化に伴い75歳以上の高齢者が増加しているため。		

(2)各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
①活動指標	ア	箇所	79	79	81	77	81	81	81
	イ								
②対象指標	ア	人	4,969	5,176	5,204	5,226	5,300	5,350	5,400
	イ								
③成果指標	ア	人	3,062	3,505	5,204	4,134	4,400	4,500	4,600
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	一般財源	千円	4,311	4,463	4,669	4,337	4,522	4,800	5,000
人件費	(A)事業費計	千円	4,311	4,463	4,669	4,337	4,522	4,800	5,000
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	4	3	3	5	3	3	3
	延べ業務時間	時間	134	114	114	161	114	114	114
人件費	(B)人件費計	千円	536	453	453	663	469	469	469
	トータルコスト(A)+(B)	千円	4,847	4,916	5,122	5,000	4,991	5,269	5,469

総トータルコスト
全体計画
~
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

事務事業名	敬老事業実施団体助成事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	--------------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)
 *原則は22年度の事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 平成19年度に補助対象を、70歳から75歳（後期高齢者）以上に引き上げた。事業の対象は、75歳以上の高齢者と敬老事業を行う行政区等であり、助成を行うことにより高齢者の社会参加を促進するためには、継続していく必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 敬老事業実施団体活動支援事業は他にない。地区で敬老事業を継続するための手段は他にない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 平成19年度に補助対象年齢を75歳以上に引き上げたので削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 適切な補助金交付を行うため業務時間の削減はできない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 高齢者のいる地区等で敬老事業を開催してるため公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 75歳以上の全ての市民を対象とした事業なので、市が行うのは適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						